

自己紹介

(2号：2010年7月15日)

本ミニバス連盟の6代目会長が私、小林清ですが、「この会長、だれ？」と全くご存じない方が殆どではないかと思います。そこで、今回は私の自己紹介をさせていただきます。



私は、小学校の教員でした（ということはすでに退職）が、ミニバスケットボールに出会ったのは教員になって2年目のことでした。それは、昭和47年のことです。その県内中央部のチームに丸8年在籍しました。その後、下関市に帰り、市内の各学校を渡り歩きながら5チームを立ち上げました。現在もしっかり活動が続いているところもあれば、その後の指導者の関係で活動休止に追い込まれたところもあります。最後のチームは宇部市でした。とても強いチームもあれば、そうでないチームもありましたが、指導者仲間には恵まれてたくさんの方と一緒に指導に関わることができました。子どもたち、保護者、指導者などいろいろな人との出会いが私の財産になりました。

今までを振り返ってみますと、私がミニバスに関わり始めた頃はまだまだ創成期でありました。（当時、県内20数チームでした。）みんな熱心な指導者ばかりで、この方たちの熱意が県ミニバス連盟設立へとつながっていったのです。そして、遂に昭和54年、山口県ミニバスケットボール連盟がつくられました。その時の流れから私が初代の事務局長となりました。

9年前に県ミニ連の副会長になり、昨年からは会長を仰せつかっているわけです。

私がミニバスに出会って、昔から思っていることは、ミニバスというスポーツの面白さを子どもたちに味あわせたいということです。学校教育とは違った社会教育の一環として子どもたちの健全育成の一助になってほしいと願っています。それは多様な出会いであり、多様な体験であります。また、新しい価値観に触れることでもあります。

この「会長の部屋」というコラムをつくってもらいましたので、日ごろ感じていることやミニバス連盟の昔の思い出などを書いていきたいと思っています。